

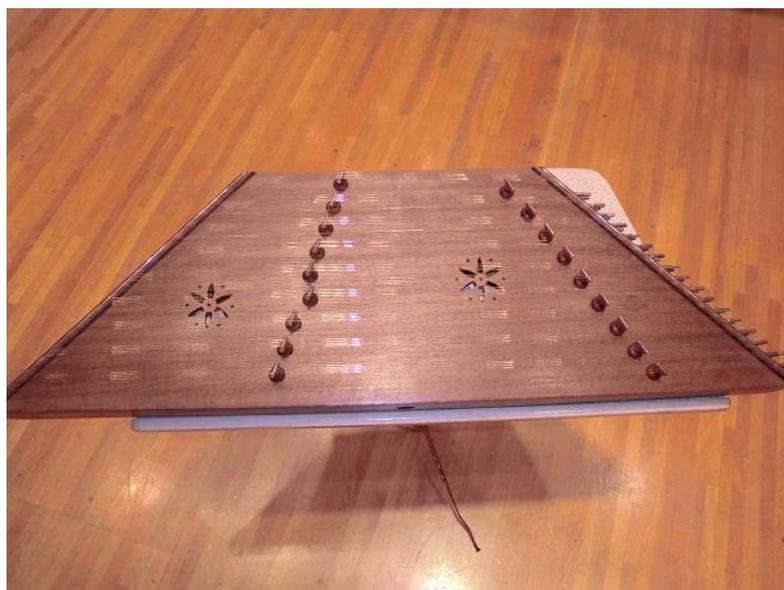
9 月度土曜例会 (2012/09/15)

本年は IIN 設立以来 30 年という節目の年です。温故知新 IIN30 年行事の一環として今回は初めての試み“公開例会”にトライしました。メンバーのみならず会員以外にも声をかけよりオープンな雰囲気として我々の活動をさらに広げて行きたいと言う思いからです。立派な会場も用意しました。そしてふさわしいゲストとして Anavian 美人母娘が来て下さいました。

Dalia さんは 4 度目の登場ですが、お母さんの Pouri さんは初めてです。タイトルは“Modern Israel and Romantic Persia”。過去 3 回の Dalia さんのスピーチ内容、2011 年 5 月、2010 年 12 月、10 月の木曜例会を読み直してみてください。今回の内容が非常に理解しやすいと思われまます。お母さんの紹介も文中随所に見られますので今回が初めてと言う感じがありません。ほぼ満席の会場に Pouri さんの奏でるペルシャの楽器 Santour の幻想的な音が響き渡るところから、さあ、開幕です。



Santour : The Dulcimer of Persia



パラダイスの調べを奏でる 72 弦の Santour はピアノの前身です。形は台形をしており、マレット (Mezrab) と呼ばれる特別な形の軽い槌で叩いて演奏します。マレットは人差し指、中指に挟んで持ちます。世界の多くの国に有りますがその形や呼び名はいろいろで、ペルシャでは音質の点から胡桃の木が好まれて来ました。弦は写真の様に kharaks と呼ばれる駒の上に水平に張られ、4 本が一単位で 18 のグループから成り、3 オクターブの音域です。1 オクターブ 9tones ですから計 27tones。駒は右列

が真鍮製、左側がスチール製です。

標準的なフェルトマレットは 1.5 グラムしか有りません。ちなみにフェルトが使われたのはせいぜい 100 年前からです。Pouri さんは音色のバラエティを持たせる為に 2 種類のマレットを使用しています。フェルト張りでは現代的でソフトな音色を出し、より深い古風の響きは違うマレットで表現します。

この楽器のチューニングは凄く時間が掛かります。なぜならペルシャのクラシック音楽は 12 モード有りますから。西洋音楽は major と minor の 2 モードしか有りません。ペルシャ音楽では Mahur, Esphahan と言い、12 モード全体を Dasgah と言います。音階はころころ変わるので Pouri さん、演奏会には何種類もの Santour を用意しておき、豊かな音を使い分けるそうです。

5歳の時テヘランでこの楽器に触れたのが始まりですが、専攻はピアノ科でした。



この台形の楽器の起源は古代アッシリア時代、3000年前に有ったと記録されています。弦には羊の腸が使われており、たぶん今より荒削りな音だったのでしょう。13世紀シルクロードでの交易が盛んとなり、シルクが弦に使われるようになりました。

この楽器はヨーロッパに渡り進化を遂げました。職人が足、ハンドル、キイ、カバー等を取り付けピアノに変化したのです。日本では江戸時代 Yaukin としてお目見えしました。

漢字で夜=night, 雨=rain, 琴=koto を意味します。ですが1983年まで日本ではこの楽器が忘れ

去られていました。ところが Pouri さんが NHK の連続テレビ番組、江戸時代の侍物語“壬生の恋歌”のサウンドトラックとして演奏してからというもの、その音色が高い評価を受け各地での演奏活動となりました。Pouri Anavian さん、日本では数少ない Santour のプロ、この楽器を通じ日本とイランの深い文化交流の架け橋に成るべく演奏活動を続けています。



うっとりと聞きほれる会場光景

Dalia さんのスピーチに話題を変えましょう。

興味深いスライドが沢山スクリーンに映し出されました。ニューヨークで元気に生活しているお祖母さん、二人の叔父さんがマンハッタンで経営している Persian Carpet のお店、ペルシャ式ホームパーティを毎日のようにアメリカでつづけている親戚の人たち、西海岸に飛んで L.A の従兄弟たち、祇園祭の山鉾に飾られている豪華な段通、L.A でお母さんと一緒にペルシャ語放映テレビに出演している所、アメリカに住むイラン人と祭日に飾られている数多くの 1979 年イランイスラム革命前のイラン国旗、さらには一挙にテルアビブに飛び、そこに住む従弟達との交流、そしてイスラエル側とアラブ側を分けたコンクリートの壁、等々。IIN 会員はすでに過去 3 回のスピーチを通じ全体像、関連性を理解していますが今日初めて聞く人たち、中東の複雑さに戸惑ったのではないのでしょうか。もう一度彼女のプロフィールを紹介しておきましょう。

Born in Teheran

Iranian mother, Israeli father

To Japan with Family (1972)

Graduated from Canadian Academy (1986)

French Fashion Academy (1987)

Co-Host of NHK's Silk Road: The Romantic Journey (1988)

Co-Host of ABC's "Journey of Harmony" Radio Program (1989)

Owner of Anavian Gallery: Persian Fine Art Collection, Property of Grandfather,

Advisor to national Museum of Iran in Tehran

Persian-Japanese Interpreter at police departments, immigration offices, detention centers and court trials (1995~2005)

Cultural and historical Lectures on Iran and Israel (2001~Present)

Persian Cuisine Cooking Classes/Persian Music-Dinner Evenings (2001~Present)



Q&A

- Persian carpet の素材は？ Wool です。 Silk もありますが Silk より強く汚れが付きにくいです。 Wool に含まれる油分の関係でしょうね。 ワインをこぼしても OK でした。
- 何年くらい持ちますか？ 100 年～300 年くらいです。 草木染めでヨーグルトの定着剤が使われていると日焼けもしません。
- Santour はソロ演奏が一般的？ それとも合奏？ 打楽器との演奏が一般的です。 伴奏には Tombak というペルシャの太鼓が使われます。
- 日本のメロディで何か演奏していただけますか？ OK! (故郷を演奏してくれました) Sakura Santour というタイトルで日本音楽のみの CD もリリースしています。 よろしかったらどうぞ！
- 楽譜を見ないで演奏されていましたが、楽譜はありますか？ ヨーロッパ式の楽譜があります。 私は即興もしますし、フィーリングを出すのがペルシャ音楽の基本なので暗譜で演奏します。

Dalia さん、いつものことながら素敵なファッションとともに明るい、分かりやすいお話を有難うございました。 Pouri さん、会場の音響は OK でしたか？ (最高でしたとの回答です) 生演奏が聞けて幸せでした。

